

立ち読み版

2ヵ月半で
習得する

2次試験

80分間 コントロールスキル

1次試験合格から短期間で2次対策スキルをアップさせたい読者は必見！
2次試験本番80分間での答案作成プロセスについて、工程ごとに詳しく紹介。
そのトレーニング方法を“受験の女王ティアラ”こと、つだまどか講師が徹底解説します。

つだ まどか
TAC中小企業診断士講座専任講師
中小企業診断士
<https://www.vividly.co.jp/>

プロローグ TACメソッドの考え方 — 本試験では出題者の意図をつかみきれない

第1章 工程1 設問分析 — 出題者の意図を可能性レベルで予測する

第2章 工程2 大枠把握 — 後工程のためのチェック作業を行う

第3章 工程3 全体戦略 — 答案作成の計画を立てる

第4章 工程4 詳細分析 — 解答に盛り込む要素を決定する

第5章 工程5 編集 — 解答要素を漏らさず得点を積み上げる

第6章 過去問で実践すべき最強のトレーニング
— 短期間で全行程のスキルアップを実現する

エピローグ 2次試験を突破するために知っておくべきこと
— 実力があっても合格できない理由

特集
2ヵ月半で
習得する

2次試験
80分間
コントロールスキル

プロローグ
TACメソッドの考え方
……………本試験では出題者の意図をつかみきれない

つだ まどか
TAC中小企業診断士講座専任講師／中小企業診断士
<https://www.vividly.co.jp/>

1 試験時間の80分間でやるべきこと

毎年、1次試験直後になると、TAC受講生のみならず、さまざまな受験生の方々からこんな相談を受けます。

「まさか1次試験に受かるとは思っていなかったの、何も2次対策をやっていません。どうしたらいいですか？」

「いざ2次試験の過去問を解いてみたら、ちんぷんかんぷんで、途方に暮れてしまっ……」

そして、こんなことを言う人も。

「1次試験と2次試験は、別物ですよ？」

最後の問いに対しては、私はこう返します。

「2次試験は、1次試験の延長線上にあるものです。これまで学んだ1次知識を使って挑むのが2次試験ですから。ただし、2次対策特有のスキルが必要になります」

この2次対策特有のスキルとは、より高いレベルでの読解力や分析力、文章力などです。TACの2次対策講座では、これらのスキルをTACメソッドとして、具体化したノウハウを提供しています。

もちろん、他の資格学校や通信講座などでも、独自のノウハウを提供しており、TACメソッド

はそれらを否定するものではありません。では、他の講座との違いは何なのか？「事例企業に対する診断報告書を作成する」という方針が理想主義だとすれば、TACは現実主義です。

理想的な診断報告書を作成するためには、与えられた情報を詳細に分析したうえで、出題者が意図する内容を的確に捉え、その分析結果や求められている助言内容を、一貫性を保ちながらポイントで書く必要があります。つまり、高得点狙いに近い対応となります。

一方で、TACメソッドは、「試験時間の80分間では出題者の意図を正確に把握しきれない」という前提に基づいて作られています。本試験という大きなプレッシャーがかかる状況下では、試験時間内に少なくともボリュームの情報を分析して、問題要求にきちんと答えるだけでも至難の技です。

過去問題集をめくってみるとすぐにわかりますが、2次試験は、設問文の言い回しが複雑で何を問われているのか把握しづらかったり、問われている内容が抽象的でどう根拠を探したらよいか検討をつけづらかったりする構成になっています。

よって、TACメソッドでは、「出題者の意図を正確に捉えるのは困難」という前提で、得点できるところを見極め、取りこぼさず得点を積み上げていくことで、大崩れしない安定得点を狙う方